

## ロシア国家院議長が、ロシアと日本の関係を歪めようとする第三者に警告

【訳者注】日本政府がロシアに対し、非公式にでも、日本の対ロ制裁参加は、アメリカの圧力によるものだったと打ち明けたことは、よいことだった。これによって、安倍首相の国辱的なポロシェンコ詣だが、やむをえぬ行動だったこともわかり、日本人はある程度安心するはずである。これは RT からしか知り得ないことだ。

RT (Russia Today)

June 17, 2016



Konastantin Salomatin/ Reuters

モスクワと東京は、その協力関係を、ロシアと日本両国民の関係を壊そうとしている第三者国家に妨害させてはならない、と State Duma (国家院=ロシア連邦議会下院) 議長 Sergey Naryshkin が話した。

「我々は、ロシア連邦と日本の協力関係は、それ自体の価値をもつもので、それは両国民の利益のために発展しつつあり、将来も発展すべきものと考えており、おそらくこの関係に横やりを入れようとする、いかなる第三者の干渉も忠告も、聞くべきではないと考えています」と、現在、東京を訪問中のナリシュキンが語ったと、RIA ノボスチは報じた。

国家院議長はまた記者団に対し、ロシアと日本は、両国リーダーによって調印された 2013 年解決案によって示されたロードマップの一部として、両国関係のための積極的な、新しいアジェンダを展開させているとも言った。

この友好関係の発展のもう一つのしるしは、今年 5 月に行われた、ウラジミール・プーチン大統領と日本の安倍晋三首相の会談だった、とナリシュキンは付け加えた。

「我々は、プーチンと安倍との会談は、遅々とした政治的対話の時期や、他の方面での、停滞した協力の発展の力学に、区切りをつけたとすることができる。」

2015 年 5 月の、この前の日本訪問の間に、ナリシュキン議長はこう発言していた——日本の政治家たちは、彼らの国家が、アメリカの圧力のもとに、反ロシア・キャンペーンに参加しているという事実を承知している。「世界は開かれていて、いろいろな国で、民衆から真実を隠すことが全く不可能になっている。徐々に、日本の民衆やその政治家エリートも、このことがわかってきた」と、Rossiya-24 TV とのインタビューで、彼は言った。

**関連記事**：「日本が、対ロシア制裁の背後にあるアメリカの圧力を認める——国家院議長」  
<https://www.rt.com/politics/261113-naryshkin-japan-us-pressure/>

ナリシュキンの東京訪問のあと続いて、日本の安倍首相は、ロシアとの関係は新しいレベルにまでもっていくことが可能であり、この二国間の友好関係は、21 世紀の東アジアの安定と繁栄を保証するものだ、と付け加えた。彼はまた、クリル（千島）列島をめぐる領土紛争も解決し、最終的に、両国間の平和条約を結ぶ努力をすると約束した——これは 60 年以上前に、第二次大戦の敵対関係が終わって以来、ずっと欠けていたものである。